



柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

子育て支援・障がい者支援・ 市民の安全安心について

ファミリーサポートセンター事業
について

問 全国各自治体で、ファミリー

サポートセンターの設置が急増。県内十二市で、本市だけ設置されていないが、その理由は。

答 本市のニーズ調査では、祖父

母等の親族が子育てのサポートをしてくれる比率が高く、市民の問い合わせも少ない為に、事業実施の検討がされていません。

問 次世代育成支援行動計画には、

ファミリーサポートセンター事業の実施目標が示されているが、未実施である。会議や他市との連携など、本市の取り組みは。

答 情報交換会が年四回開催され

参加しています。県や他市には、事業の概要やファミリーサポートセンター設置の実施要綱等の情報収集をいたしました。

問 他市の実施状況は、二市が自

治体主体、九市がNPO法人や民間委託で実施。NPO法人や

民間と行政が協力して子育て支援を進めることが必要では。

答 ニーズ調査の結果でも、利用

希望ニーズ量が増えているので、子ども子育て支援事業に反映し、実施を前提に検討していきます。

問 子育て世代の親達の希望に

応え、ファミリーサポートセンターの実施、広報・お知らせ版等で周知することを要望する。

その他、障がい者の入所施設・

自然災害の対応・空き家問題について質問しました。



ミニファミリーサポートセンター



櫻 井 ひろ 江
(日本共産党安中市議団)

防災対策・給食費の無料化・ 子ども子育て支援制度について

傾斜地等の開発規制について

問 秋間、石尊山の周辺で太陽光

発電の民間開発計画がいくつもある。埋土した所が雨で崩れたり、地滑り警戒区域もあり危険。傾斜地等での開発は、安全確保や自然環境、生活環境を守る観点から、規制すべきではないか。

答 景観への配慮も含め、太陽光

発電の開発について、本市でのルールづくりを検討します。

防災行政無線の戸別受信機につ

て **問** 豪雨時には、屋外受信機では聞こえない。比較的安価な防災ラジオを取り入れている自治体もある。旧安中地域に防災ラジオ等を取り入れる考えは。

答 屋外子局で聞こえない所、百

八軒に戸別受信機を設置します。防災ラジオ等、新たな方式や機能については、地域での適正費用等、総合的に検討する中で

対応します。

対応します。

給食費無料化の具体的な進め方について

問 一度に無料化する方が良いと

思うが、市長は、段階的に行われている。一年毎に、中学生、小学四年から六年生、小学一年

答 具体的な進め方は協議中です。

問 実施時期についてはいつか。

答 財政状況を考慮しながら来年度からの実施を考えています。

その他、子ども、子育て支援制度について二点質問しました。



松井田地域の戸別受信機